

ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2026 Spring Vol.135

TAKE
FREE
無料

ROSE

■発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タムラデザイン



特別座談会

ふじ・紙のアートミュージアム 10周年



ふじ・紙のアートミュージアム

Fuji Paper Art Museum

2016年11月1日、富士市制施行50周年を機にオープンした富士市公設の美術館。約78㎡の外光の入るガラス張りの空間で、紙を素材とした芸術作品による独自の展覧会を企画し、入場無料にて開催している。また併設の交流スペースでは、作者によるアーティストトークや、ワークショップなどを定期的に開催している。

ふじ・紙の美術館がオープンする前は市内に日常的に美術作品を鑑賞する公の場がありませんでした。常に芸術作品を鑑賞できる空間があれば心の豊かさにつながるのではないかと考えます。全国には様々な美術館がありますが、常に紙の作品だけを展示している美術館は少ないと思います。当ミュージアムは紙の素材や表現方法に新たな可能性のある作品を紹介させていただいています。基本的には繊維があるものは紙になります。特に伝統的な和紙はコウゾ、ミヅマタ、ガンピなどを原料としています。鑑賞者に伝統的な素材や技法で表現された作品だけでなく様々な紙を取り入れた作品を紹介することにより新たな発見や創造性につながればと考えております。

一人でも多く市民に当ミュージアムの存在を知ってもらうことは勿論、将来子供たちが「富士市には『ふじ・紙のアートミュージアム』がある」と誇りに思ってもらえるような存在になりたいと切に願っています。

ふじ・紙のアートミュージアム
館長 漆畑勇司

館長挨拶

ふじ・紙のアートミュージアムは、二〇一六年十一月にオープンしてから十年目を迎えるようになっています。

展覧会は年に三回の企画展と全国公募の「紙のアートフェスティバル」を開催しています。

また、市民の皆様には芸術文化に親しんでいただくためにアーティストトークや特別講座、ワークショップなども開催しています。

富士市は静岡県内でも産業を中心として発展してきた有数の町であり、特に製紙産業が盛んな町でもあります。紙を製造するだけではなく、紙の文化芸術の香りのする町であって欲しいと常に願っています。

表紙の写真 (上)紙の美「断」プロデュース 漆畑勇司 制作 富士木材株式会社
(下)紙の美「スパイラル」企画制作 漆畑勇司・富士スパイラル工業株式会社

【展覧会記録】

- | | | | |
|---|---|--|---|
| <p>Vol.01 日比野克彦展
-文化はFUNNEに乗ってやってきた-
2016年11月1日(火)~2017年1月30日(月)</p> <p>Vol.02 広瀬護展
2017年2月23日(木)~5月28日(日)</p> <p>Vol.03 紙の美「断」
-芸術文化と企業の関わりを、どう繋げていくか...-
プロデュース 漆畑勇司 制作 富士木材株式会社
2017年6月14日(水)~8月27日(日)</p> <p>Vol.04 友田多恵子展
-軽いの、重い!!- 楕で漣いた造形 ぶつぶつ、ごわごわ
2017年9月13日(水)~12月10日(日)</p> <p>Vol.05 秋山信茂展
-想念の束-
想像の軌跡は描かれた地図の様 旅程の景色が紙に印された
2018年1月6日(土)~4月8日(日)</p> <p>Vol.06 北山善夫展
-歴史-
2018年5月2日(水)~7月16日(月)</p> <p>Vol.07 藤原志保展
-平和の風-
2018年8月1日(水)~10月14日(日)</p> <p>Vol.08 渡辺英司 胡蝶の夢展
2018年11月1日(木)~2019年2月17日(日)</p> <p>Vol.09 志村陽子展
-森の囁き-
2019年3月13日(水)~6月16日(日)</p> <p>Vol.10 本堀雄二展
-JOUDO- 捨てる紙あれば拾う神あり
2019年7月1日(月)~9月16日(月祝)</p> | <p>Vol.11 紙の美「スパイラル」
-芸術文化の香りのする町に...-
企画制作 漆畑勇司・富士スパイラル工業株式会社
2019年9月23日(月)~10月27日(日)</p> <p>Vol.12 第11回 紙のアートフェスティバル 高木健一展
2019年11月4日(月)~12月22日(日)
(主管 紙のアートフェスティバル実行委員会)</p> <p>■富士市文化会館ロゼシアターの改修工事のため2020年1月から3月まで休館</p> <p>Vol.13 佐々木昌夫展
-拒絶の紙-
2020年4月1日(水)~6月14日(日)・7月1日(水)~8月30日(日)
*新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、4月9日から5月31日を臨時休館。会期延長。</p> <p>Vol.14 4周年記念 パネル展
-ふじ・紙のアートミュージアムの軌跡-
2020年9月11日(金)~10月11日(日)
*新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、内容を変更。
紙のアートフェスティバルの全国公募を中止。</p> <p>Vol.15 第12回 紙のアートフェスティバル 特別展
2020年10月20日(火)~12月13日(日)
あしざわまさひと・漆畑ゆう子・遠藤和帆・遠藤真由美・小川浩子
小池千彩美・collage・白砂勝敏・樺葉織衣・鈴木雄一郎・高木健一
谷本和身・ナガタシヒロ・野網克美</p> <p>Vol.16 寺内曜子展
2021年1月7日(木)~3月14日(日)</p> <p>Vol.17 岸野ひと美展
2021年4月1日(木)~6月27日(日)</p> <p>Vol.18 武蔵野美術大学 彫刻学科 授業 基礎造形 作品展示
-動いている人-
2021年7月12日(月)~9月12日(日)
片岡真菜・佐々木里桜・佐野遥美・原 望・原田紗綾・大矢航平
小山田開・小池みゆ・小石川沙笑</p> | <p>Vol.19 第13回 紙のアートフェスティバル 洪田薫展
2021年9月27日(月)~12月12日(日)</p> <p>Vol.20 楡木令子展
-魂の宿るところ- Where the soul is
2022年1月4日(火)~3月21日(月祝)</p> <p>Vol.21 包 漆畑勇司展
-自然を包む-
2022年4月3日(日)~6月26日(日)</p> <p>Vol.22 カタチの進化論 柳井嗣雄展
2022年7月6日(水)~9月25日(日)</p> <p>Vol.23 台湾 日本 国際芸術交流展
-繁花幻境-
CURATOR 張子隆・漆畑勇司
2022年10月10日(月祝)~10月30日(日)
蔡芷芬・林彥伶・呂昀珊・Adeline Parrot・梁海莎
漆畑勇司・漆畑ゆう子・谷本和身・五島一浩・長田俊広
(主催 台湾石門雕塑中心TESA Creative Center・一般社団法人富士芸術村)</p> <p>Vol.24 第14回 紙のアートフェスティバル レイラ展
2022年11月16日(水)~12月11日(日)</p> <p>Vol.25 榎真弓展
-Bound-
2023年1月4日(水)~3月19日(日)</p> <p>Vol.26 西村優子展
2023年4月3日(月)~6月18日(日)</p> <p>Vol.27 安部典子展
-カバーズ:表徴と穴-
2023年7月5日(水)~9月18日(月祝)</p> <p>Vol.28 第15回紙のアートフェスティバル 鈴木優里香展
-My Skin, My Blood-
2023年10月2日(月)~12月10日(日)</p> | <p>Vol.29 半澤友美展
-Self: multiple presents-
2024年1月5日(金)~3月17日(日)</p> <p>Vol.30 半谷学展
2024年4月1日(月)~6月30日(日)</p> <p>Vol.31 青木一香展
2024年7月15日(月祝)~9月16日(月祝)</p> <p>Vol.32 第16回 紙のアートフェスティバル 菊地絢女展
2024年10月1日(火)~12月8日(日)</p> <p>Vol.33 岩崎花菜子展
2025年1月5日(日)~3月16日(日)</p> <p>Vol.34 横あさ美展
2025年4月7日(月)~6月29日(日)</p> <p>Vol.35 三谷純展
2025年7月14日(月)~9月21日(日)</p> <p>Vol.36 第17回 紙のアートフェスティバル 音舞里展
2025年10月7日(火)~12月14日(日)</p> <p>Vol.37 上岡ひとみ展
-対話の可能性-
2026年1月5日(月)~3月15日(日)</p> |
|---|---|--|---|

※いずれの展覧会も「入場無料」にて開催
主催：富士市 主管：一般社団法人富士芸術村

次回 Vol.38 紙の美 2026年4月1日(水)~

文化会館内に併設された美術館として、独自の企画運営で展覧会やワークショップを実施している

「ふじ・紙のアートミュージアム」は

二〇二六年十一月に開館十周年を迎えます。

日々お客様をお迎えしているミュージアムスタッフと

漆畑館長に、お話を伺いました。

十周年を迎えるにあたり、
印象深い思い出などありますか？

漆畑 設立の発端は、紙の町・富士市を文化面においても「紙を創り、文化を創造する町」にしたいというものです。第一回目の展示を務めてくださった日比野克彦さんにお会いした際、短い時間の中でその熱い思いを伝えました。その結果、ミュージアム立ち上げとなる初回の展示を引き受けてくださることに「ああこれでスタートが切れるな」と感じたことは、いい思い出です。

植松 この十年間、年四回の展覧会に加え、アーティストトークやワークショップも月一回の開催を目標に実施してきました。今現在までに、三十七回の展覧会を実施、どの作品にも思い出がある中、必ず行われる搬入と展示作業、そして会期が終わった後の作品の送り出し、その瞬間は毎回感慨深いです。

伊東 富士市内外をつなぐ活動拠点としての役割に加え、紙という素材の可能性を探るワークショップも開催し、活動を広げることができました。紙のアート作品に特化したミュージアムとして定着してきたことが大きな成果だと思っています。

谷本 本当にたくさんの方に見ていただけたことがなによりありがたいです。そして作品を展示

大きなメリットだと思います。

植松 小さなお子様から幅広い世代の方々が思わず立ち止まって見てくれる、これはとてもいいことですよね。

谷本 日々の生活、その延長線上に作品をいつでもみられる機会があるということ、「いつ来てもここに作品がある」というその環境が一番大事なことだと思います。

漆畑 最初ロゼシアターの中に、という話が出たとき、「正直」そんなこと言わずに富士市にも大きな美術館を」と思いましたが、結果的にはよかつたのかなと。今のギャラリー寄りのスケール



Vol.01「日比野克彦展」作家による特別講座「海をつくろう」市民参加型の制作過程の様子



スタッフ
植松俊貴

してくださった作家の皆さんにも感謝するばかりです。コロナ禍では、そこに作品があるにもかかわらず見ていただけない悔しさがありましたね。

伊東 なんとか見ていただけたよう、動画を作成しYouTubeへ投稿もしましたね。コロナ対策は、ロゼシアターの皆さんと連携協力し乗り越えたことも思い出です。

市民の皆さまの反応について

植松 「製紙業の町だから、紙の美術館があるんだね」という声を実際に聞けたことで、我々の思いが届いていると感じました。

伊東 来場者アンケートでも「紙の魅力を再発

感がとてもよいと感じています。

それからロゼシアターのスタッフさんが開館してからいろいろな提案をしてくれて。文化会館と美術館のスタッフ同士が協力して文化が成り立つのだと実感しています。さらに芸術面では、ロゼシアターという文化的な施設に相応しい展覧会を催し、市民の皆さんに伝えること、それが僕たちの使命だと思います。

これからの展望について

植松 滞りなく展覧会を続けていくこと、会期をスタートさせること。その積み重ねだと思えます。またこれまで、この会場で制作し展示するというスタイルの展覧会もありました。今後もそういう展示もやっていければと思います。二十年、三十年目を目指していきます。

伊東 継続していくなかで館長に指導いただき



Vol.11「紙の美 スパイラル」展示作業の様子



館長 漆畑勇司

東京造形大学卒業、富士市在住。彫刻家として活動しながら、富士高等学校の美術講師として20年教鞭をとる。2004年に富士市の芸術文化交流の拠点として「富士芸術村」(富士市大淵)を立ち上げ、その活動を通して若手芸術家の支援や、市における芸術の振興に寄与してきた。

見できた「富士市が紙の町であることを再認識できた」という声を多くいただいています。谷本 繰り返し来館くださる方も多くなり、うれしいですね。

どのように展覧会を企画しているのでしょうか

谷本 展覧会の内容は館長が企画しており、そ



スタッフ
伊東加代子

ながら、学芸員としての知識を生かし、富士市の文化資源の研究や活動を発信していきたいです。谷本 いい展覧会だなと皆さまにお楽しみいただけるよう、すばらしい作品に劣らない鑑賞環境をこれからも大切により良くしていきたいと思っています。

漆畑 皆が言うように、継続することがなにより大切で、ここに美術館があることが「当たり前」であり、日常である環境を次の世代につなげていくこと、それがこれからの展望と考えます。子どもが大人になり東京へ出たときに「富士で『日比野克彦展』をみたことがある」ということが財産であり、富士の芸術文化を高めることになると信じています。

市民に向けてひと言

植松 今以上、より多くの方に足を運んでいた



Vol.35「三谷純展」作家による特別講座アーティストトークの様子



ワークショップ「七夕飾りをつくろう」の様子

れがミュージアムの特徴になっています。

漆畑 選定はとても難しいですが、作家さんの表現方法へのこだわりを重視し、紙に対しての取り組み方が興味深い方にお声がけしています。系統やスタイルの違うアーティストを選ぶほか、素材の違いもある。「これ本当に紙でできるの?」という作品も多く展示してきました。十年続けられたことで、作家さん同士のつながりもでき、広がりを見せています。紙という素材を幅広い視点で見てもらえればうれしいです。

谷本 著名な作家さんにも引き受けていただいていますし、さらにその作品を無料で鑑賞できるというのも本当にすごいことだと思います。

文化会館の中にある美術館として

伊東 美術館を求めて足を運ばれる方のほか、中央公園に来た方や、ロゼシアターの公演を鑑賞された方々も、ミュージアムを楽しんでくださっていると感じています。多くの方がアクセスしやすい美術館として存在できていることはとても



スタッフ
谷本和身

だけるよう、頑張っています。皆様のご来館をお待ちしています。

ありがとうございました

取材・文／渡井理恵
撮影・長橋睦

EVENT SCHEDULE

2026

イベントスケジュール 2026年 4月～6月
ロゼシアター主催・共催事業のご案内

5月

モーニング娘。'26 コンサートツアー春 -Rays Of Light-

日時: 5月23日(土)
1回目/開演14:15 2回目/開演17:45
※開場時間は開演の45分前
会場: 大ホール
※詳細は、ロゼシアターホームページをご確認ください。



モーニング娘。'26

共

6月

中学生招待コンサート

日時: 6月4日(木)
午前の部/開演10:00 午後の部/開演14:00
※開場時間は開演の45分前
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 500円
※未就学児入場不可



シエナ・ウインド・オーケストラ

発売日
WEB・窓口: 5月8日(金)

4月

ロゼこどもスプリングコンサート

日時: 4月11日(土)
1回目/開演10:30 2回目/開演13:00
※開場時間は開演の30分前
会場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 500円
※0歳から入場可
※3歳以上有料
2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料



前回の様子

発売中

6月

かえってきた! おばドルゆみこ 富士市編 ～市制60周年記念公演～

日時: 6月7日(日)
開演17:00
※開場時間は開演の45分前
会場: 中ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 5,000円
※未就学児入場不可



発売日
WEB: 4月16日(木)
窓口: 4月17日(金)

6月

小学生招待コンサート

日時: 6月11日(木)
午前の部/開演10:00 午後の部/開演14:00
※開場時間は開演の45分前
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
均一 500円
※未就学児入場不可



富士山静岡交響楽団

発売日
WEB・窓口: 5月8日(金)

4月

富士市制60周年記念事業 One Heart PROJECT Produce 薔薇の秘密 -episode 0-

日時: 4月11日(土)
1回目/開演14:30 2回目/開演18:30
※開場時間は開演の30分前
会場: 小ホール
入場料: (全席自由・税込)
均一 2,000円
※未就学児入場不可
※窓口取扱いのみ



発売中

共

-2026年速報-

11月

富士市制60周年 記念コンサート

指揮: 岩村力
演奏: 富士フィルハーモニー管弦楽団

日時: 11月3日(火祝)
会場: 大ホール
主催: 富士市制60周年記念文化振興事業実行委員会



©Naoyasu Uema
岩村力

12月

ミュージカル『星影の人』 —沖田総司・まぼろしの青春—

日時: 12月 富士公演上演
会場: 大ホール

出演: 岡宮来夢
華優希
岐洲匠 笹森裕貴
田村心 愛加あゆ 他
企画・制作: 梅田芸術劇場
主催: テレビ静岡



岡宮来夢

共

4月

松平健・コロッケ★エンタメ魂

日時: 4月18日(土)
昼の部/開演13:00 夜の部/開演17:00
※開場時間は開演の30分前
会場: 大ホール
入場料: (全席指定・税込)
一般 7,000円
小学生 2,000円
※未就学児入場不可



コロッケ



松平健

発売中

共

WEB
購入
手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
 - 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
 - 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
 - 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取
- ※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※購入後の変更・キャンセルはできません

※公演により支払い方法が異なる場合がございます

5月

ホール探検隊

●小学生の部(対象:小学生とその保護者)
日時: 5月5日(火祝) 14:00～
5月6日(水振休) 10:00～
●中学生以上対象
日時: 5月6日(水振休) 14:00～
会場: 中ホール
入場料: 無料・要事前申込(先着順)



前回の様子

申込み: 3/28(土) 14:00～
(電話予約のみ)

富士市制60周年記念コンサート 市民合唱『第九』 参加者募集

PICK UP

過去公演/2010年1月24日(日)「第九演奏会」の様子 演奏/富士フィルハーモニー管弦楽団

令和8年11月に富士市は市制60周年を迎えます。これを記念し、11月3日(火祝)にロゼシアターにて「記念コンサート」を開催いたします。

演目には『第九』の愛称で親しまれているベートーヴェン『交響曲第九番』を取りあげ、市民公募による合唱団と共にお届けする企画となります。今回、このハレの日の舞台上でコンサートを共に作り上げてくださる市民を広く募集いたします。

公演日 令和8年11月3日(火祝) ※昼公演を予定
会場 富士市文化会館ロゼシアター 大ホール
出演 指揮：岩村力
演奏：富士フィルハーモニー管弦楽団

【合唱指導】 小林陽子 藤原きよみ

【練習期間】 ●ピギナーコース 6月11日(木)・25日(木)・7月9日(木) ※以降は基本コース合流
●基本コース 7月12日(日)～土日昼練習ほか、木曜夜、本番を含む約20回程度
※平日木曜は19:00～21:00/土日練習日は13:30～15:30

【練習会場】 ロゼシアター リハーサル室、富士川ふれあいホール 多目的室等を予定
※練習日時・会場一覧はロゼシアターホームページよりご確認ください

【対象】 富士市及び富士市近隣在住、在勤、在学、令和8年度中に満13歳以上となる方

【定員】 約150名程度(ソプラノ・アルト・テノール・バス)

【参加費】 一般 7,000円
ペア割 13,000円 (テノール・バスを含むペアでのお申込みの方対象)
還暦記念割 6,000円 (令和8年度中に還暦を迎える方対象)
U25 1,000円 (令和8年度中に満13歳～25歳となる方対象)
※参加費には指定楽譜代、公演の招待券1枚を含みます
※指定楽譜をお持ちで楽譜不要の方は各参加費より500円引き

【募集期間】 5月7日(木)～5月24日(日) 必着

【応募方法】 ●申込フォーム/富士市電子申請を予定

●指定の申込用紙を①②いずれかへ直接持参または郵送
提出先① 417-8601 富士市永田町1丁目100番地
富士市役所 市民部文化スポーツ課「第九」合唱募集 係
提出先② 416-0953 富士市蓼原町1750番地
富士市文化会館ロゼシアター「第九」合唱募集 係

指定申込用紙ほか、参加条件・練習日詳細等は富士市またはロゼシアターホームページよりご確認ください

【お問合せ】 富士市文化スポーツ課(文化担当) 0545-55-2874
富士市文化会館ロゼシアター 0545-60-2510

主催：富士市制60周年記念文化振興事業実行委員会

※本事業は、令和8年度富士市予算の成立を前提としています。



© Naoyasu Uema

指揮 岩村力

早稲田大学理工学部電子通信学科、および桐朋学園大学演奏学科を卒業。マスタープレイヤー指揮者コンクール優勝ほか数多くの国際コンクールにて入賞。これまでにハンガリー管、N響など国内外のオーケストラを指揮するほか、アルグリッチの要請によりパドヴァ室内管弦楽団と共演し国際的に活躍。近年はナレーター・朗読家としての研鑽も積み、ライブ収録における新たな展開を重ねている。2000-07年NHK交響楽団アシスタントコンダクター。2010年より兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクター。2015年、兵庫県功労者表彰(文化功労)受賞。



かえってきた! おばドルゆみこ 富士市編

PICK UP

～市制60周年記念公演～



富士市制六十周年という記念すべき年に、富士市吉原商店街を舞台にしたミュージカルを上演します。今回は、二月に市民オーディションを開催。プロのキャストと共に「元気に笑って、元気に泣ける」ピュアなエンタテインメントをお届けします。この街「富士市」を心から愛する物語。

【あらまし】

舞台は富士市吉原商店街。スナックを営み、街の中心的存在だった松隈鉄平が亡くなって三年。「吉原商店街まつり」を盛り上げる斬新なアイデアがないまま時が過ぎていた。

そんな停滞にも何処か人任せな街に苛立ちを覚える松隈の娘・恵子。そして活気のない地元で嫌気がさして、街を飛び出した息子・大輝。

それでも二人の胸には、「何とかしてこの街を元気にしたい」という思いがあった。そこで二人が出したアイデアは

「地元を舞台にしたミュージカルをつくらう！」

街の人々はほとんどが素人。それでもオーディションを開き、主演にアイドルをキャスティングするのだが……

「主演アイドル」のおばドルゆみこが富士市を舞台に歌い、踊り、街の人々とともに物語を動かしていく。



主演のつちやかおりさんより、公演を前にコメントをいただきました

富士市の皆様こんにちは！ハートフルミュージカルコメディ「おばドルゆみこ」が帰ってきました！前回の舞台を観劇された皆様も、ご都合がつかなかった皆様も、是非ロゼシアターに足を運び下さい！演者スタッフ共々お逢い出来る事を心待ちにしています！



つちやかおり

『3年B組金八先生』で鮮やかにデビューし、アイドル時代を経て、タレント・女優として活躍を続ける

公演情報

日時：6月7日(日)
開場16:15 開演17:00
会場：ロゼシアター中ホール
チケット：(全席指定・税込)5,000円

※未就学児入場不可
発売日：4月16日(木) 10:00～WEBのみ
※窓口は4月17日(金) 10:00～

主催/富士市・公益財団法人富士市文化振興財団
特別協力/富士吉原商店街
富士山吉原ロータリークラブ
龍伸

イベントの詳細やキャストの出演情報はおばドルゆみこ公式SNSにて公開予定!



文筆家・文化芸術プロデューサー。ひとり図書館「軽井沢本の森」館主。愛知県教育委員会教育アドバイザー、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、文化芸術系人材育成コミュニティ「ダ・ヴィンチの学校」学長など、未来の文化人育成にも力を注ぐ。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した「ぎふ未来音楽展2020」が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか（指揮者・山田和樹との共著）』（アルテスパブリッシング）、『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）など。最新刊は、『音楽家は本を読む 浦久俊彦の乱読道場』（アルテスパブリッシング）。



KATALOG 語るく ～開演ベルが鳴る前に～

音楽、演劇、ミュージカル、伝統芸能まで一。
人と人とをつなぎ、感動を共鳴させてきた劇場文化。
その魅力を、多彩な分野で活躍する
文化芸術プロデューサーが
縦横無尽に語りかける気楽なエッセイ、
まもなく開幕です。ごゆっくりお楽しみください。



Vol.4

ベートーヴェン「交響曲第九番」 『第九』を歌おう！



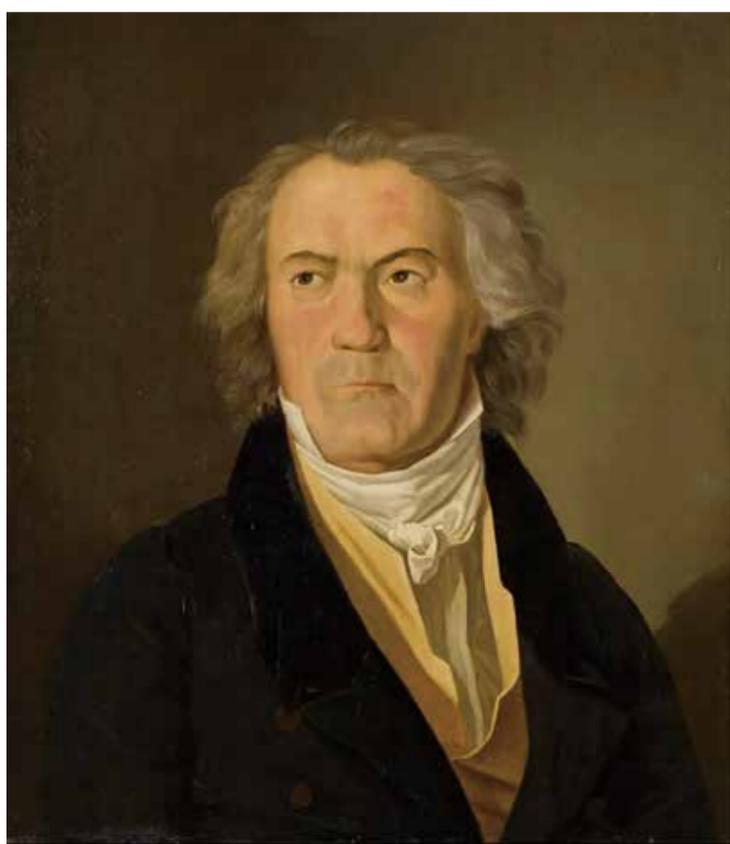
東京音楽学校奏楽堂での『第九』初演 大正13年11月29日

「神」という言葉に、科学万能の現代という時代に生きるべくたちは、とかく拒否
ベートーヴェンのメッセー
ジとは？
編詩ともいえるわけです。「歓喜」や「友愛」はこの詩を貫くテーマとして、よく取り上げられますが、ぼくは、ひとつの言葉に注目してみたいと思います。それは、この交響曲の最後に登場するひとつのフレーズです。「星空の彼方に、**「彼」**は住んでいるに違いない」。星空の彼方に、誰がいるのか？このフレーズの前には、「星空の彼方に、彼を探せ！」とも叫んでいます。この「彼」とは、「創造主」つまり「神」のことです。



ベートーヴェン交響曲第九番 第4楽章の自筆譜

反応を示しがちです。それは、ベートーヴェンが生きた十九世紀初頭のヨーロッパもそうでした。「第九」が掲げたメッセーに異議を唱える声は当時もありました。「星たちのかなたにおわす神」のもとに、歓喜と自由を讃美した理想主義的な真実に対して、もはや信頼を寄せられないという人は数多くいたのです。けれども、ふたつの凄惨な世界大戦など『殺戮の世紀』とよばれた二十世紀を生きた数え切れないほどの無数の人々が、『第九』が奏でる堂々とした響きとともに、ベートーヴェンが訴えようとした力強いメッセーに、どれほど感動



ベートーヴェンの肖像

なぜ『第九』は日本人の魂になったのか？
いまから六年前、ぼくは『ベートーヴェンと日本人』（新潮社）という本を書きました。この年（二〇二〇年）はちょうどベートーヴェンの生誕二五〇年にあたり、日本でもさまざまなイベントが計画されていました。が、あいにコロナ・ウイルスの猛威が世界を覆い、さすがの楽聖ベートーヴェンも霞んでしまいました。ぼくは、この本のなかで「なぜ日本人にとってベートーヴェンが特別な存在なのか？」という謎に挑もうとしました。「数多い西洋の大作作曲家のなかで、なぜベートーヴェンだけが『楽聖』と呼ばれ

るのか？」「日本で最初に演奏されたベートーヴェンの作品は何か？」このような疑問を追いかけていたら二冊の本になってしまったのです。なかでも不思議だったのが『第九』でした。なぜ『第九』は、日本の暮の風物詩になったのか？毎年大晦日が近づいてくると、どこからともなく聴こえてくる、あの耳慣れた旋律……。いつしか日本は世界でもっとも『第九』が演奏される国となり、それも、ただ聴くだけではなく、老若男女が集ってドイツ語の歌詞を学び、合唱団の一員となって演奏に参加することに無上の喜びを感じるのにはなぜか。『第九』のなかにあふれる「うた」に、いかに多くの日本人が慰められ、涙を流したか。なぜ

「星空の彼方に」何が あるのか？

それは、この「うた」に込められたメッセーに秘密があるのかもしれない。「第九」のユニークさは、壮大なスケールの交響曲に「合唱」と「独唱」を加えた前代未聞の交響楽作品であるとはよくいわれませんが、重要なことは、響きの伽藍、荘厳な建造物のような響きだけではなく、「言葉」による「メッセー」を含んでいることです。では、ベートーヴェンはこの作品にどのようなメッセーを込めたのか。第四楽章の歌詞の原作が、若き日のベートーヴェンが崇拜していたドイツの詩人シラーの作であることはよく知られていますが、ベートーヴェンはシラーの詩をそのまま用いたわけではなく、彼が自らメッセーとして主張したいという自らの理念に沿う部分だけを選び、わずかに単語も変えています。ベートーヴェンが用いたのは、シラーの原詩全体の三分の二程度です。つまり、ベートーヴェンの

し、勇気づけられ、励まされてきたか。卓越したベートーヴェンの研究者、ソロモンは、『第九』のもつ多義性をこう書いています。「それ（第九）はもっと大きな諸々の関連性や多様な意味を含んでおり、それらがこの作品に人間変革の二つのモデルとして否定したい地位を与えてきた」。つまり、ベートーヴェンのメッセーとは、たんに宗教的な「神」を求めたのではなく、歓喜の先に希望を見いだそうという叫びでもあるのです。不透明でこの先に何が待ち受けているのかが見えない二十一世紀という不安な時代を生きるべくたちは、もういちど『第九』に込められた人類不変のメッセーを、ともに高らかに「歌って」みようではありませんか。

浦久俊彦

参考文献

- 『ベートーヴェン 音楽と生涯』 ルイス・ロックウッド 土田英三郎・藤本一子監訳ほか、春秋社2010
- 『ベートーヴェン（上・下）』 メイナード・ソロモン 徳丸吉彦 勝村仁子訳、岩波書店 1992-3
- 『ベートーヴェンの『第九交響曲』〈国歌〉の政治史』 エステバン・ブッフ 湯浅史ほか訳、鳥影社2004
- 『ベートーヴェンと日本人』 浦久俊彦 新潮社2020

P8「PICK UP」にて特集（第九合唱 参加者募集）掲載



浦久俊彦「ベートーヴェンと日本人」(新潮社 2020)



Report

創作ダンス体験ワークショップ

市内の教職員と、小学校にダンスの楽しさを届けました!



◆教員対象講座「表現運動・ダンス」

令和7年10月15日 (場所:ロゼシアター大ホール)

◆ロゼおでかけダンス教室

10月16日 (場所:元吉原小学校)



教職員向けワークショップでは、まず教員経験のある内堀氏が講義を行い、その内容を踏まえて、学校の授業で子どもたち

教員トピック講座「表現運動・ダンス」

十月に、市内教職員向けの「表現運動・ダンス」のトピック講座と、小学校での「ロゼおでかけダンス教室」を行いました。講師は、八月のワークショップに引き続き、東京を拠点に活動する河内優太郎氏と山田茉莉氏、内堀愛菜氏です。

ロゼシアターでは令和七年度より、様々なテーマや物語を体の動きをとおりして表現する「創作ダンス」の取り組みを始めました。「創作ダンス」は身体能力や、難しいテクニックを必要としない、現代的ダンスを取り入れたダンスで、小中学校の授業でも取り入れられています。

ロゼおでかけダンス教室
小学校で行われたワークショップは、これから表現運動の授業を始めるにあたり、プロのダンサーと一緒にその楽しさに触れてもらうことが目的です。

参加した教員からは「授業づくりのヒントになった」「ダンス表現への理解が深まった」といった感想が寄せられました。

ロゼおでかけダンス教室

現在の、小中学校では体育の授業や運動会・体育祭で表現運動や創作ダンスが取り入れられています。

「創作ダンス」で、「富士市の文化や人々の思い」を表現したいと考えています!



「もっとダンスが好きになった」という声を聞くことができました。

現代的ダンス(コンテンポラリーダンス)とは?

現代的ダンス(コンテンポラリーダンス)は、決まった型や技術を競う枠にとらわれず、自由な発想と身体表現を大切にしているダンスです。「コンテンポラリー」は「同時代的」「現代的」という意味を持ち、その時代の空気や社会の感覚を身体で表すことを特徴としています。テーマに合わせて多様な表現ができるため、地域や社会の「今」を作品として描くことができ、オリンピックの開閉式でも披露されるなど、その独創性と表現力が世界的に注目されています。



弦楽器体験会

バイオリンひいてみませんか?

令和7年8月8日(金) ①10:00 ②11:30 ③13:30 ④15:00

Report



バイオリン



ヴィオラ



体験会は当初二回の予定でしたが、予想を上回る応募が殺到し、急ぎよ四回に増やしました。普段手にすることが難しい楽器を体験できたことに多くの参加者が満足した様子でした。今後、未経験者には体験の機会を提供し、初心者にはさらに学びを深められるように展開していきたいと思えます。

バイオリンに触れてみたい、弾いてみたい、みんなと合奏してみたい、そんな想いを叶える弦楽器体験会を実施しました。気軽に体験できる機会を提供することで、弦楽器に親しむ人の層を広げることが目的としています。市内の音楽団体 ウィンクルム・ストリングスの指導のもと、二歳から七十代の七四名が参加し、バイオリン、ヴィオラ、チェロの演奏を体験しました。



フチ演奏会



全員で合奏



チェロ

ウィンクルム・ストリングス 在原木どころさん

敷居が高そうに見える弦楽器ですが、実は管楽器より安い物もあり、コツが分かればどなたでも演奏が出来ます。体験会がきっかけとなって自分だけの音色と特別な自分だけの時間を楽しんで頂ければと思います。

バイオリンにあごがのらなくて、でもひいてみたかったのでうれしかったです。(小学校低学年)

バイオリンをさわったことさえはじめてなので、ひけてとても楽しかったです。(小学校高学年)

バイオリンの体験をとても楽しみにしていたので満足です。(中学生)

ヴィオラを教えていただきましたが、全くの初心者の私でも音を出すことができて楽しかったです。(60歳代)

参加者アンケート



初めて体験する楽器に気軽に挑戦できて、短時間で合奏が仕上がって、貴重な体験でした。(50歳代)

INFORMATION from ROSÉ THEATRE

Pick up vol.9 正面玄関リニューアル

正面玄関の車道まわりをリニューアルし、安全面に配慮した整備を行いました。歩行者の皆様の安全性向上はもちろん、ドライバーにとっても視認性が高く、スムーズに走行できるよう、アスファルト舗装や路面サインを見直しています。今後も引き続き、歩行者・車両ともに周囲の状況にご注意いただき、安全にご利用にご協力をお願いいたします。



ふじ・紙のアートミュージアム

『紙の美』

観覧無料

2026.4/1(水)～6/28(日)
10:00～18:00

休館日:ロゼシアター休館日に休館

□日程など変更する場合があります。
□詳細はWebsite・Facebook・Instagramをご参照いただくか、お電話にてお問合せください。



ふじ・紙のアートミュージアム

ロゼシアター1階 東側奥
TEL.0545-32-6581 <https://fuji-paperart.jp>

Instagram



プレゼントのご案内

アンケートに回答いただいた方の中から抽選でチケットプレゼント!

Aコース 公演チケット 1組2名様

対象公演:「おばドルゆみこ2026」
2026年6月7日(日)17:00開演

Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券 (1,000円分) 2名様

■応募方法
右記QRコードから入力フォームにてアンケートに回答のうえ、ご応募ください。



■受付期間
3月20日(金祝)～5月10日(日)
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)
※当選者にはご応募時のメールアドレスへご連絡いたします。

レストラン「ロゼテラス」

激辛トマトソースが流れ出す

◎フジヤマ マグマ
スパゲッティ
スープ・サラダ付
1,600円



- ビーフシチューオムライス 1,850円
- アスパラとベーコンのアラビアータ 1,500円
- 炭火焼鳥と彩り野菜のオムライス 1,580円
- ツナと木の子の和風パスタ 1,480円
- なすとモッツアレラのポロネーゼ 1,530円

スープ・
サラダ付

◆営業時間 11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

◆場所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間は月曜休店・ランチ営業のみ。
詳細は「ロゼテラス」ホームページをご覧ください。

ロゼテラス
ホームページ



休館日のお知らせ

4月20日(月)
5月18日(月)
6月 8日(月)

編集後記

2026年は富士市制60周年のアニバーサリーイヤーです!記念事業の予定が目白押しの中、ロゼシアターでは「ベートーヴェン交響曲第九番」の合唱を企画しています。これまでも「第九」合唱は、1999年「20世紀賛歌市民合唱」、2010年(2009年度)「富士ロゼシアター合唱団」として市民を募り、開催しました。1回目の第九から早くも四半世紀が経ちました。光陰矢の如し。約16年ぶり3回目となる今回。この貴重な機会を逃さず、ぜひご参加ください!(松)

本誌は3月1日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■X「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji ■YouTube「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】

FLASH BACK

フラッシュバック
2025.10月～
2026.1月

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします! 2025年10月～2026年1月をフラッシュバック!!

絢香 Wonder! Tour2025

10月4日(土)

- すごく感動しました。絢香の歌声が素敵でとってもWonderな気持ちでサイコーでした。(30代)
- 歌をきいて初めて涙が出そうになりました。ありがとうございました。(60代)
- はじめて見たけど楽しかったよ。(小学生)



創作ダンスワークショップ 教職員編/小学校編

P.12にて
特集レポート
掲載!

10月15日(水)

富士市内教職員対象講座「表現運動・ダンス」

10月16日(木)

ロゼおでかけダンス教室(元吉原小学校)

Xmasオーナメント ワークショップ

11月9日(日)

- クリスマスがたのしみになりました。たのしかった。(7歳)
- とても楽しく作れた。毎年やってほしいです。(9歳)
- 家族みんなで楽しい時間を過ごせました。できあがったものをまた家族で見にくる、2回楽しめるイベントでとても良いと思います!(40代)



ふじ寄席 神田伯山 独演会

11月8日(土)

- 講談を聞いたことがない人でも聞きやすいように考えられた話の導入で、楽しく聞くことができた。(20代)
- 初めての講談でしたが、迫力、緊張と緩和、話の語り方、聞き取りやすすべてが伯山さんの魅力だと思いました。(40代)
- 舞台の上で生き生きと人々が動いているかのように思えました。(60代)

おでかけロゼシアター

12月13日(土)

北里アリーナ富士

- 新しく出来たアリーナで、思いがけずいやしのひとときを感じたコンサートでした。(60代)
- こんなに間に、しかも無料で見る事が出来てとても良かった。(50代)



富士見台まちづくりセンター

- サックスの音がちかくて、はくりよくにおどろいた。(小学生)
- 12月にふさわしい優しい選曲が良かったです。ピアノと管楽器2本とは思えないふくやかな演奏で良かったです。(50代)

葛西聖司の入門講座 「文楽のツボ」

1月30日(金)

- 知っているのと知らないのでは大きく違うと思ったし、文楽がより楽しみになりました。(20代)
- 見どころがわかって良かったです。(50代)
- 細かい動きの解説がとても楽しかった。(50代)
- 非常に面白いお話で時間があっという間にすぎました。(70代)

